

(情報公開用)  
解答例・出題意図 (配点無)

ペーパーインタビュー

出題意図

I.

食農学類で何を学び、農学を通じてどのような社会貢献をしたいかを、SDGsの17の目標に即して600字で記述するよう求め、自身の考えや経験を論理的にまとめる思考力、相手に伝える表現力、ならびに主体性(意欲・関心・態度)を総合的に評価する。

II.

- (1) みどりの食料システム戦略に関する文章を読ませ、文章を正確に読み取ることができているかを見ることで、基礎学力や理解力を評価する。
- (2) 農薬使用量などの計算をさせることで、実践的な計算能力を評価する。
- (3) 表についての説明と自身の意見を記述させ、読解力、表現力、ならびに主体性等(意欲・関心・態度)を総合的に評価する。

III.

熱中症と暑さ指数に関する英文を読ませ、そこに書かれた内容の基礎的理解、応用力を問う。

- (1) 暑さ指数の定義が理解できているのかを、具体的な計算を通じて問う。
- (2) (1)で得られた結果を踏まえ、取るべき対応を本文から読み解く応用力を問う。
- (3) 本文の暑さ指数の考え方を、具体的な状況に適用する応用力を問う。



## ペーパーインタビュー

試験科目	ページ	解答用紙枚数	時間
ペーパーインタビュー	1～8	3枚	90分

### 注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけない。
2. この問題冊子は8ページある。印刷不鮮明の箇所などがある場合には、監督者に申し出ること。
3. 解答はすべて別紙の解答用紙に横書きで記入すること。
4. 解答用紙の指定欄には必ず受験番号を記入すること。
5. 解答用紙の評点欄には何も記入しないこと。
6. 解答用紙は持ち帰らないこと。

## ペーパーインタビュー

- I あなたは本学類で何を学び、農学を通じてどのような社会貢献をしたいと考えますか。図1の持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals; SDGs)が掲げる17の目標から2つを選択し、それらに関連させながら、あわせて600字以内で書きなさい。

**この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。**

Ⅱ 現在，農林水産省は，食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションによって実現するための「みどりの食料システム戦略」（以下「みどり戦略」という。）を策定し，持続可能性の高い農業を推進している。みどり戦略に関する以下の文章を読んで，設問(1)～(3)に答えなさい。

**この部分に記載されている文章については，著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。**

**この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承ください。**

[設問]

- (1) この文章に基づき、以下の(ア)~(ウ)の文について正しいものに T、間違えているものに F と書きなさい。
- (ア) 日本では化学肥料や化学農薬の使用量を通常よりも減らした農業は有機農業に含まれる。
- (イ) 有機農業が推奨されている理由には、グローバルな政治経済の状況に影響されないということがある。
- (ウ) 2022 年度の日本の耕地面積は約 4,328,571 ha と推定できる。

(2) 下線部の化学農薬使用量(リスク換算)は、化学農薬に含まれる有効成分の当該農薬年度における出荷量に、リスク換算係数をかけ、全有効成分について総和をとることで算出される。リスク換算係数は、有効成分ごとに調べた、人への毒性の指標である許容一日摂取量(ADI)を基に、表1のように決められている。ADIとは、人が毎日一生にわたって摂取し続けても健康に影響がないと考えられる1日あたりの摂取量であり、体重1kgあたりの量で表される。

**この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。**

ある農薬年度において化学農薬A, B, C, D, Eの5種類のみが出荷されたとする。それぞれの出荷量と有効成分a, b, c, d, eの質量パーセント濃度およびADIは表2の通りとする。この年度の有効成分aの出荷量は何tか、有効数字3桁で答えなさい。また、この農薬年度の化学農薬使用量(リスク換算値)を有効数字4桁で答えなさい。

**この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。**

(3) 表3は、化学農薬を使用した場合と比較して、化学農薬を使用しなかった場合の農産物の収量の減少率(減収率)を調査した試験結果である。ただし、化学農薬の使用の有無以外は同様の栽培方法を行ったものとする。表3から読み取れることと、日本における環境に配慮した農業の推進についてのあなたの意見を250字以内で述べなさい。

**この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。**

Ⅲ 以下の英語の文と表を読んで、設問(1)~(3)に答えなさい。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。

**この部分に記載されている文章については、著作権法上の問題から公表することができませんのでご了承願います。**

[設問]

- (1) 湿球温度(NWB), 黒球温度(GT), 乾球温度(NDB)の値がそれぞれ 25℃, 40℃, 35℃の屋外空間と屋内空間がある時, WBGTの値(℃)をそれぞれ求めなさい。
  
- (2) 湿球温度(NWB), 黒球温度(GT), 乾球温度(NDB)の値がそれぞれ 25℃, 40℃, 35℃の屋外空間において, ガイドラインに従えば, どう行動すべきか, 日常生活時と運動時についてそれぞれ述べなさい。
  
- (3) 農作業における熱中症対策で留意すべき点は何か。WBGTの考え方に基づいて有効な対策を3つ挙げ, それぞれ具体的に説明しなさい。